

京丹後市のみらいのまちづくりについて

～都市計画マスタープランのみなおし～

資料のダウンロード、ご意見の入力フォームはこちらから
<https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/kensetsu/toshikeikaku/2/21765.html>



令和7年8月

京丹後市 建設部

はじめに 「まちのかたちづくり」を考える？

1 都市計画マスタープランとは？

市の将来のまちづくりの基本的な方針です。

(土地利用、道路、公園などの基盤整備などまちのかたちづくりの方針)

2 今考えるのは？

人口減少、高齢化、災害リスク、環境などが変化しています。



これらの変化に対応し、よりよい未来を築くために、現状をふまえ、
都市計画マスタープランを見直します。

1. これからのまちのかたちづくりについて

○日本全体でも人口減少

- ・日本全体の人口が2010年をピークに減少傾向（老年人口2040年：約4割へ）
- ・医療や福祉、商業、公共交通などの生活を支える様々なサービスの維持が困難

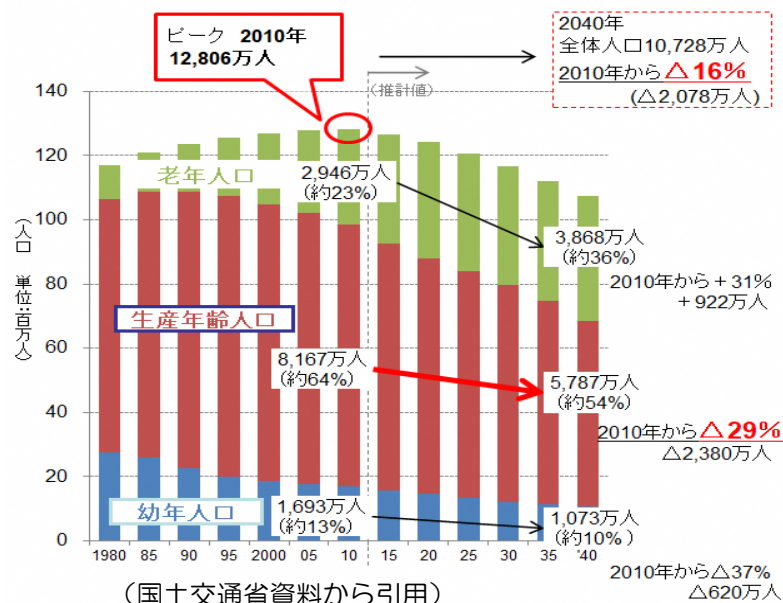
○立地適正化計画制度創設

- ・医療・福祉・子育て支援・商業等の都市機能を拠点等に誘導
- ・周辺や公共交通沿線の人口密度を維持
- ・公共交通により生活サービスへのアクセスを確保

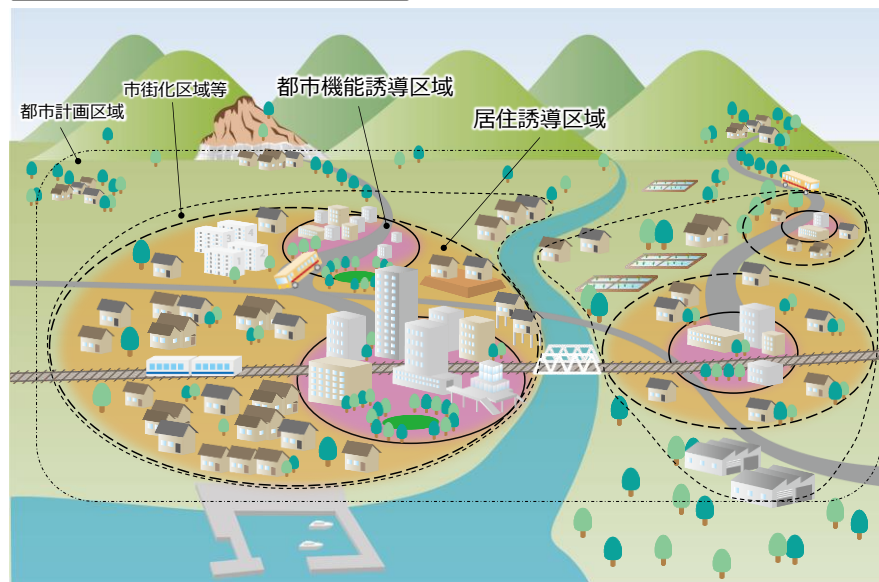


生活サービスや
コミュニティの
持続性が高まる

全国の人口動態



立地適正化計画イメージ

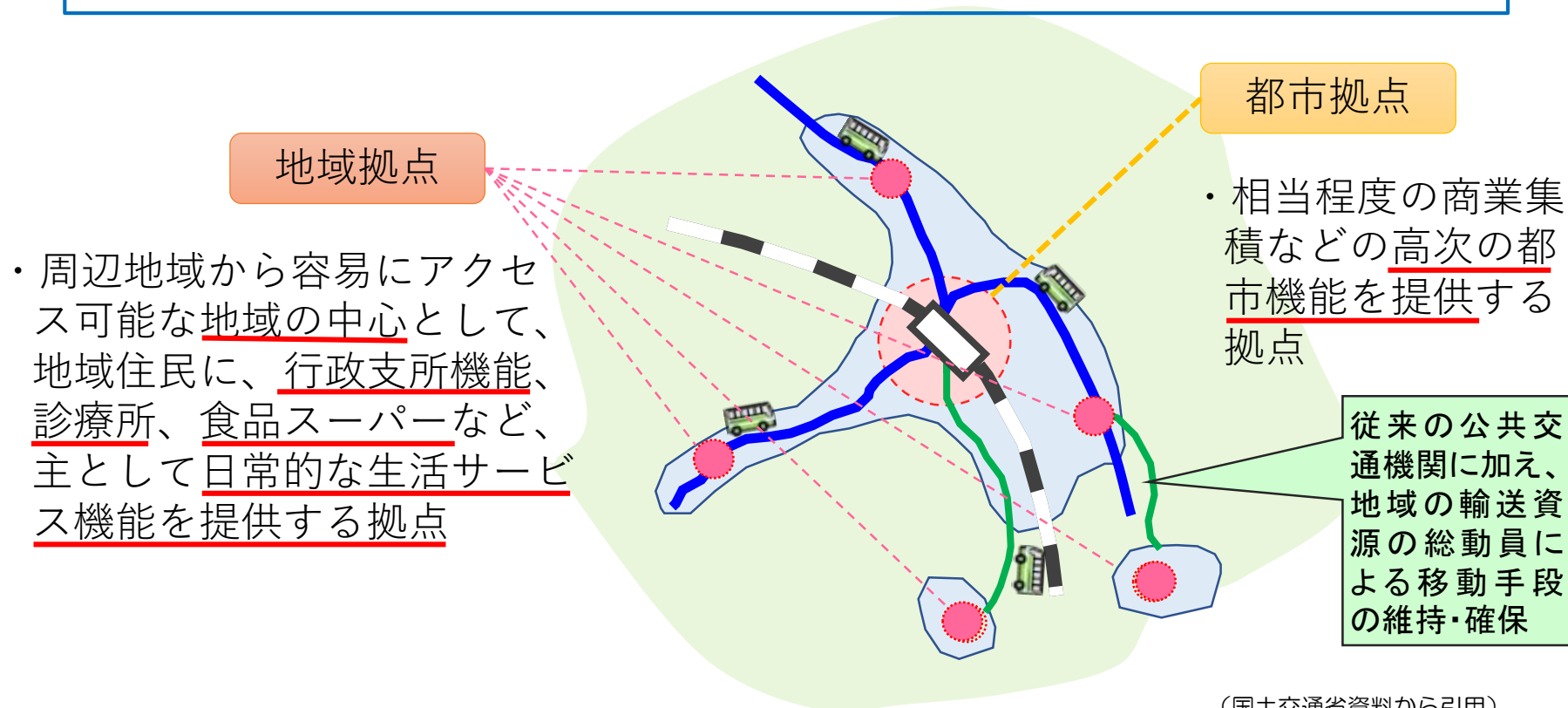


(国土交通省資料から引用)

1. これからのまちのかたちづくりについて

コンパクト・プラス・ネットワーク

居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能の誘導と、それと連携して、公共交通の改善と地域の輸送資源の総動員による持続可能な移動手段の確保・充実を推進。



(国土交通省資料から引用)

1. これからのまちのかたちづくりについて

意義

- 一定の人口密度などに支えられてきた医療、福祉、商業などの都市機能を将来の人口減少・少子高齢化が進む中でも持続的に確保する
- 若者にとっても、高齢者にとっても、安心できる快適な生活環境を実現する
- 財政面においても持続可能な行政運営を実現する など

位置付け

- 「市町村都市計画マスタープランは、都市全体を見渡した都市計画の基本方針」
- 居住機能や医療、福祉、商業、公共交通などの都市機能の誘導により、多極ネットワーク型のまちづくりを推進するためのアクションプラン

第3次市総合計画
府区域マスタープラン



即す

都市計画マスタープラン
(+立地適正化計画)

総合計画に掲げる都市機能構想に基づくまちづくりを推進するため、「立地適正化計画」の考え方を都市計画マスタープランに組込む

【参考】「まちづくりの方向性」について

× 一極集中

市内の最も主要な拠点
1カ所にすべてを集約

× すべての人口
の集約

すべての居住者を一定の
エリアに集約させる

× 強制的な集約

居住者や住居を強制的
に短期間で移転させる



◎ 多極型

中心的な拠点だけでなく、旧町役場周辺
などの地域拠点も含
めた多極ネットワ
ーク型のまち

◎ すべての人口
の集約を図る
ものではない

集約による一定エリア
の人口密度を維持しつ
つ、農村部等につい
ても、それぞれの地域特
性に合った居住環境を
確保

◎ 誘導による集約

メリットを最大限享
受できるような施策
を講じ、時間をかけ
ながら居住や都市機
能を誘導・集約化

2. 本市が目指す都市構造（第3次総合計画都市機能構想）

- 第3次総合計画では、都市機能として拠点と軸を位置付けている。

都市機能イメージ図



都市拠点

商業機能などの都市機能が集積
国道312号と国道482号の
交差点付近～国道312号沿道のエリア

地域拠点

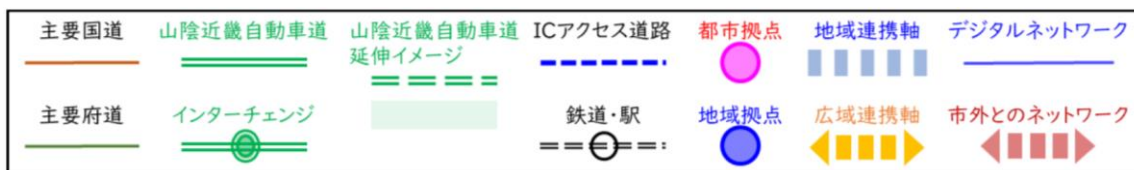
日常生活に必要な機能が集積
各町の市民局周辺の市街地エリア

広域連携軸

市外と市内各地域を結ぶ
山陰近畿自動車道、鉄道、公共交通

地域連携軸

市内の各拠点、隣接市町を結ぶ
主要国府道、鉄道、公共交通



3. 都市計画マスタープランに定める内容

● 対象区域

- ・市全域

● 都市の将来像

- ・基本理念、将来像、将来人口、将来都市構造 など

● 都市づくりの方針

- ・土地利用、拠点、軸（道路、公共交通） など
- ・生活環境（公園、上下水・河川、公共施設など）
- ・防災、自然・景観 など

● 地域別構想

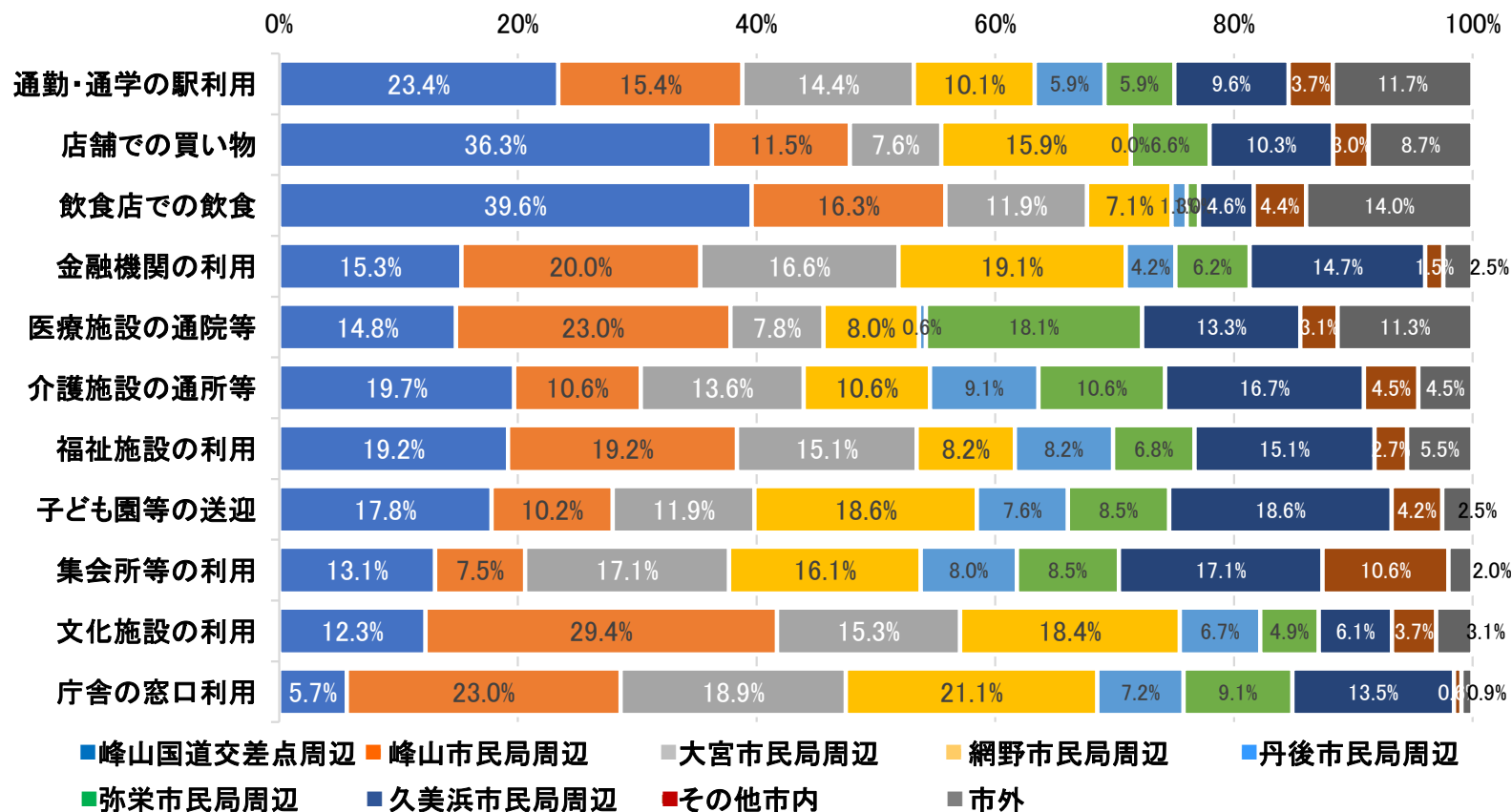
- ・峰山地域
- ・大宮地域
- ・網野地域
- ・丹後地域
- ・弥栄地域
- ・久美浜地域

※現行の都市計画マスタープランは、都市計画区域内（峰山・大宮・網野のそれぞれ一部地域）を対象としていました。

4. 市民アンケート調査

■ 日常の行動や利用施設の行き先（市全体）

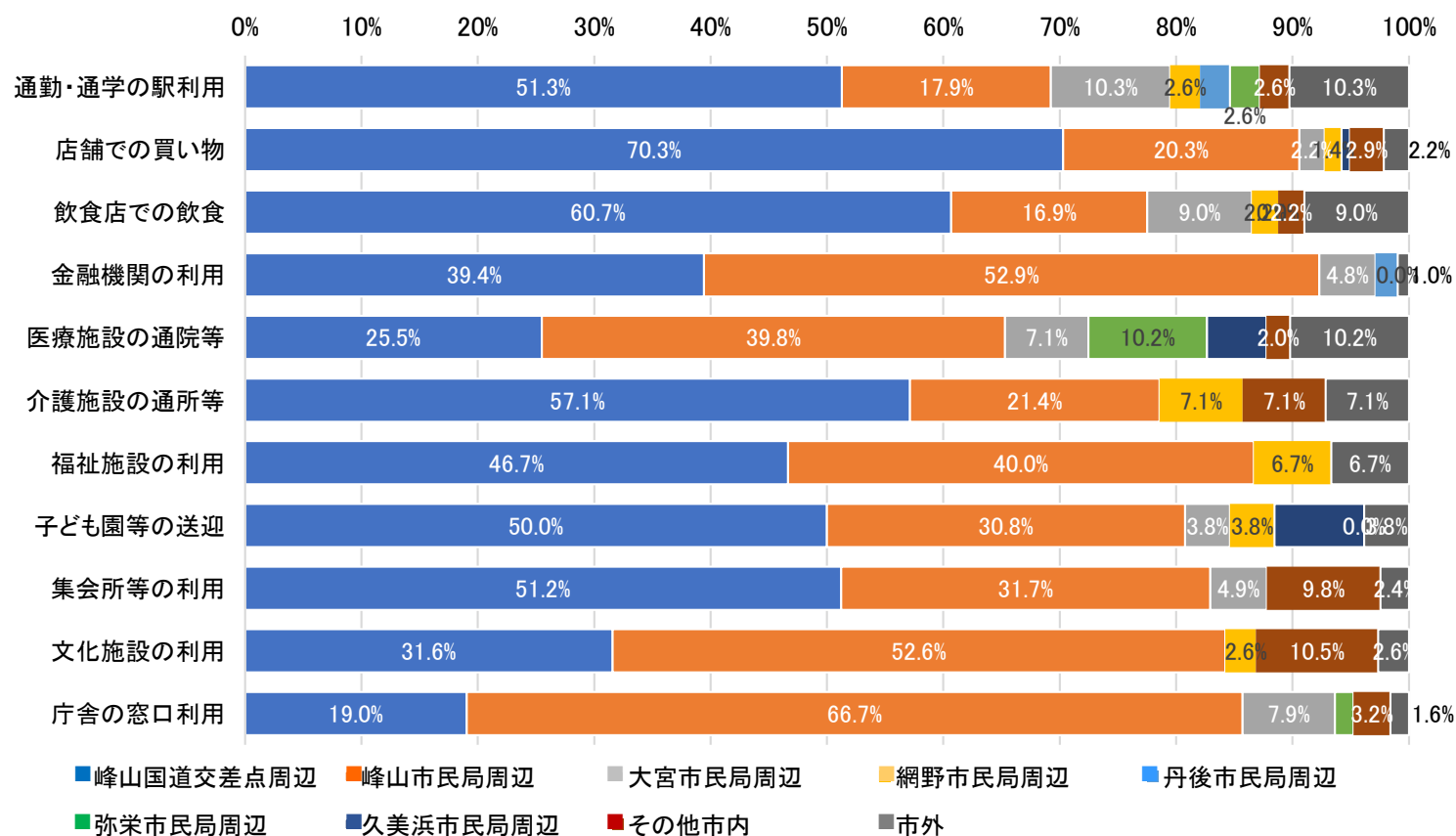
- 買い物や飲食店は、峰山国道交差点付近（都市拠点）での利用が多い。
- 他の施設等は、市民局周辺（地域拠点）での利用が多い。



4. 市民アンケート調査

■ 日常の行動や利用施設の行き先（峰山町居住者）

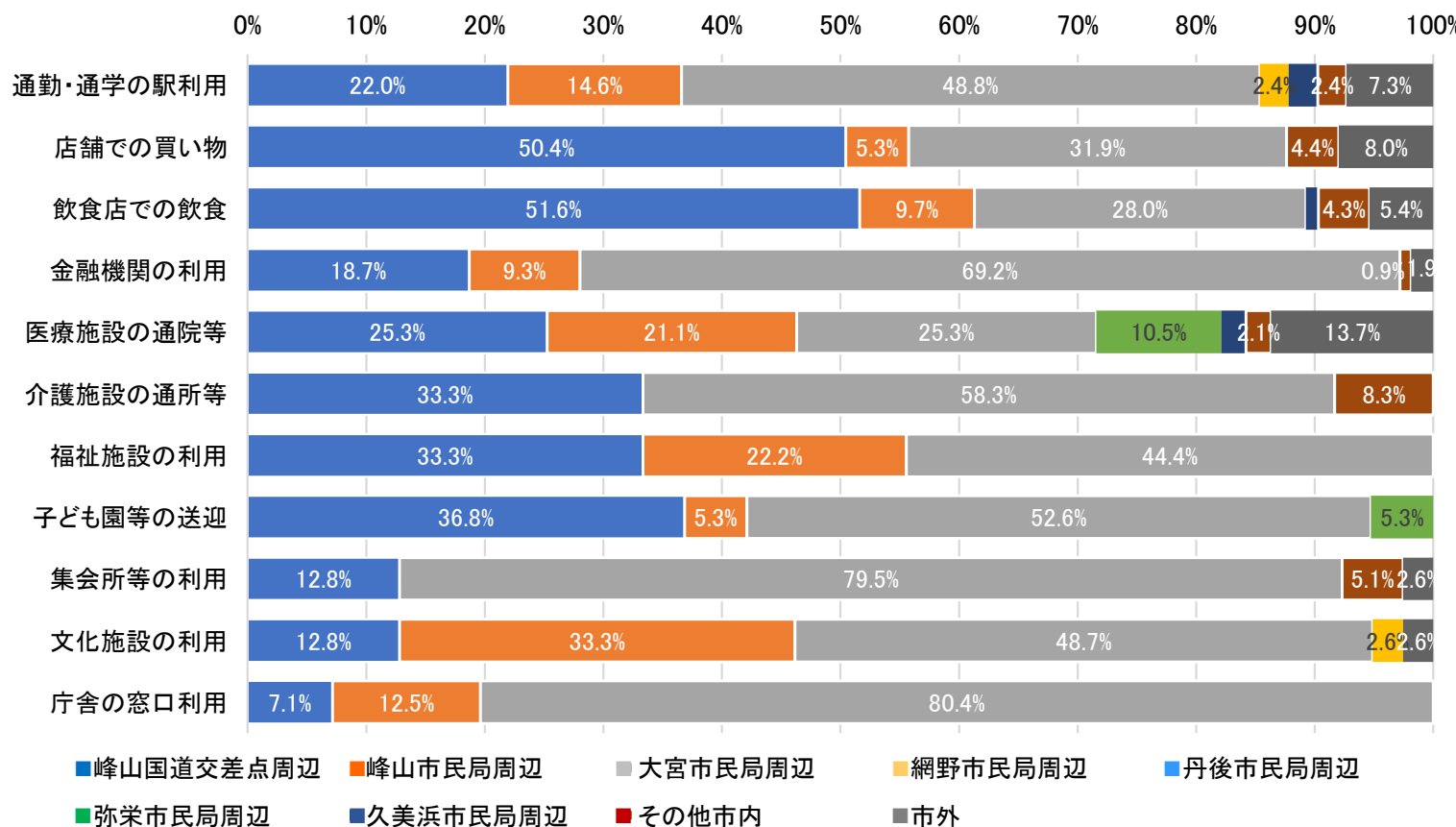
- 全体的に峰山国道交差点周辺の利用割合が高く、次いで峰山市民局周辺を利用している。
- 国道交差点周辺では、買い物、飲食店、介護施設の利用が特に多く、峰山市民局周辺では、庁舎、金融機関、文化施設の利用が多い。



4. 市民アンケート調査

■ 日常の行動や利用施設の行き先（大宮町居住者）

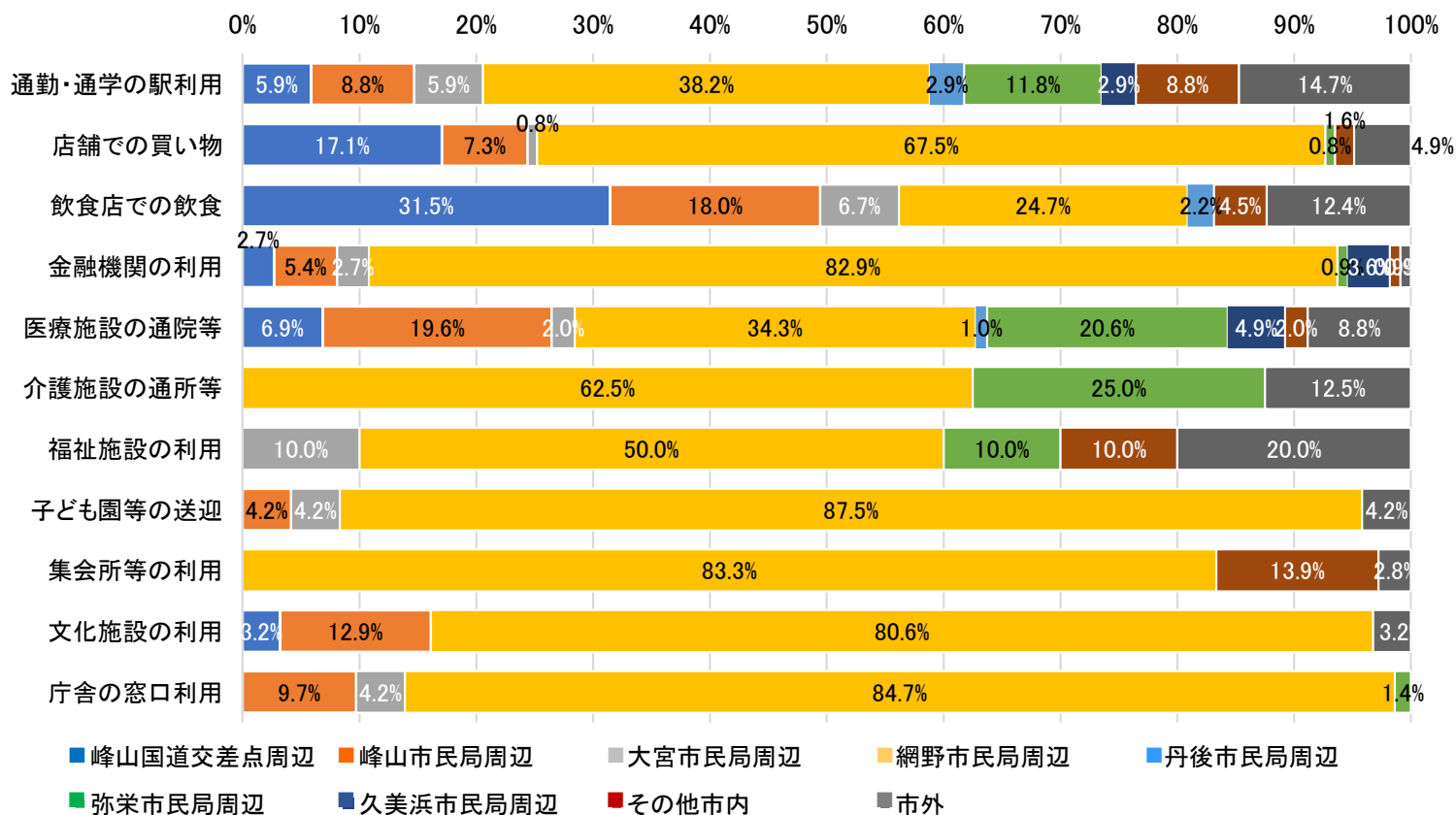
- 全体的に大宮市民局の利用割合が高く、次いで峰山国道交差点が多い。
- 大市民局周辺では、庁舎、集会所、金融機関の利用が特に多く、国道交差点周辺では、買い物、飲食店の利用が多い。



4. 市民アンケート調査

■ 日常の行動や利用施設の行き先（網野町居住者）

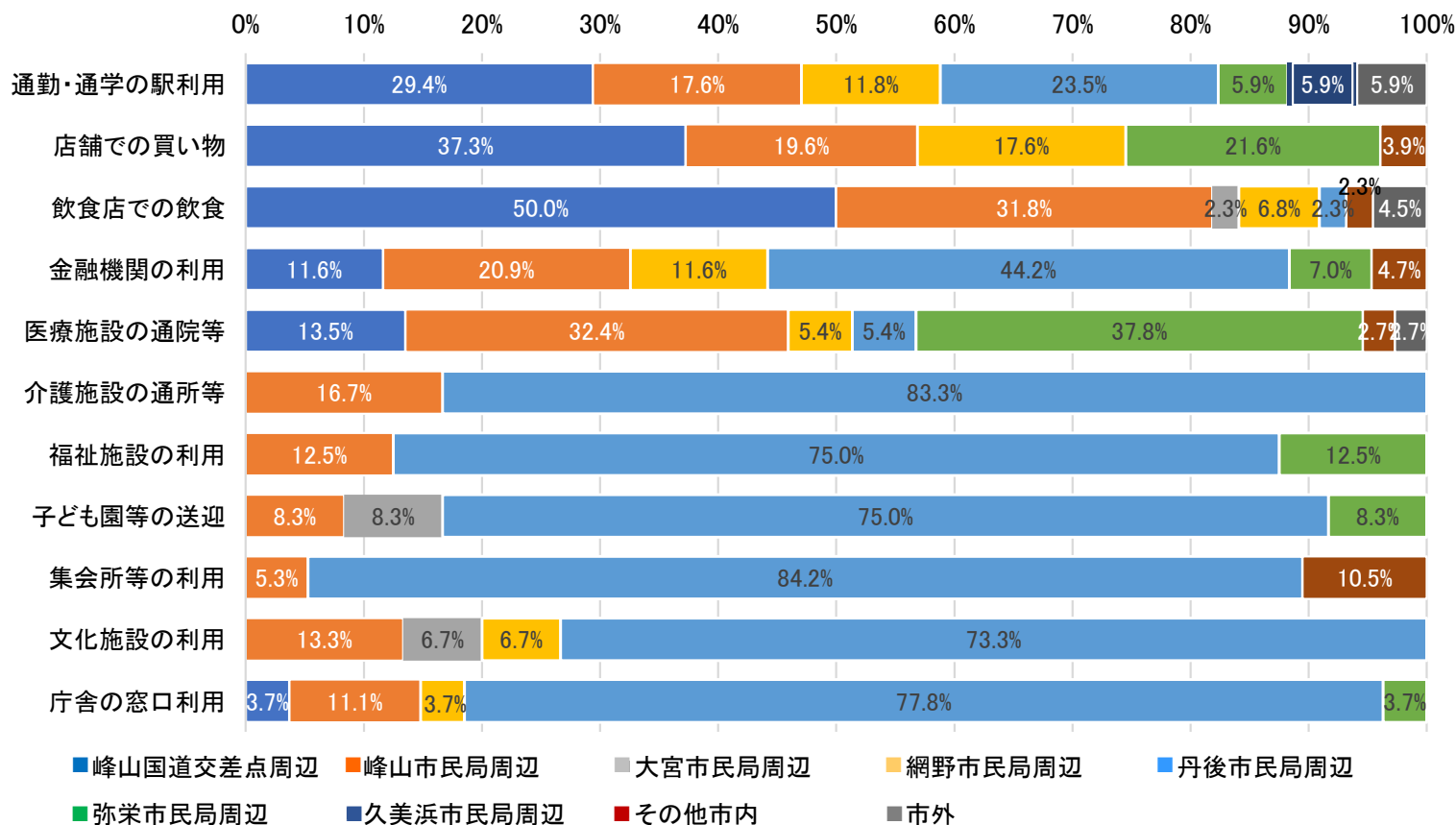
- 全体的に網野市民局の利用割合が高い。
- 網野市民局周辺では、子ども園等の送迎、庁舎、集会所等の利用が特に多い。
- 飲食店利用は、国道交差点周辺が網野市民局周辺を上回っている。
- 福祉施設利用は、市外（豊岡市）利用の割合も若干高い。



4. 市民アンケート調査

■ 日常の行動や利用施設の行き先（丹後町居住者）

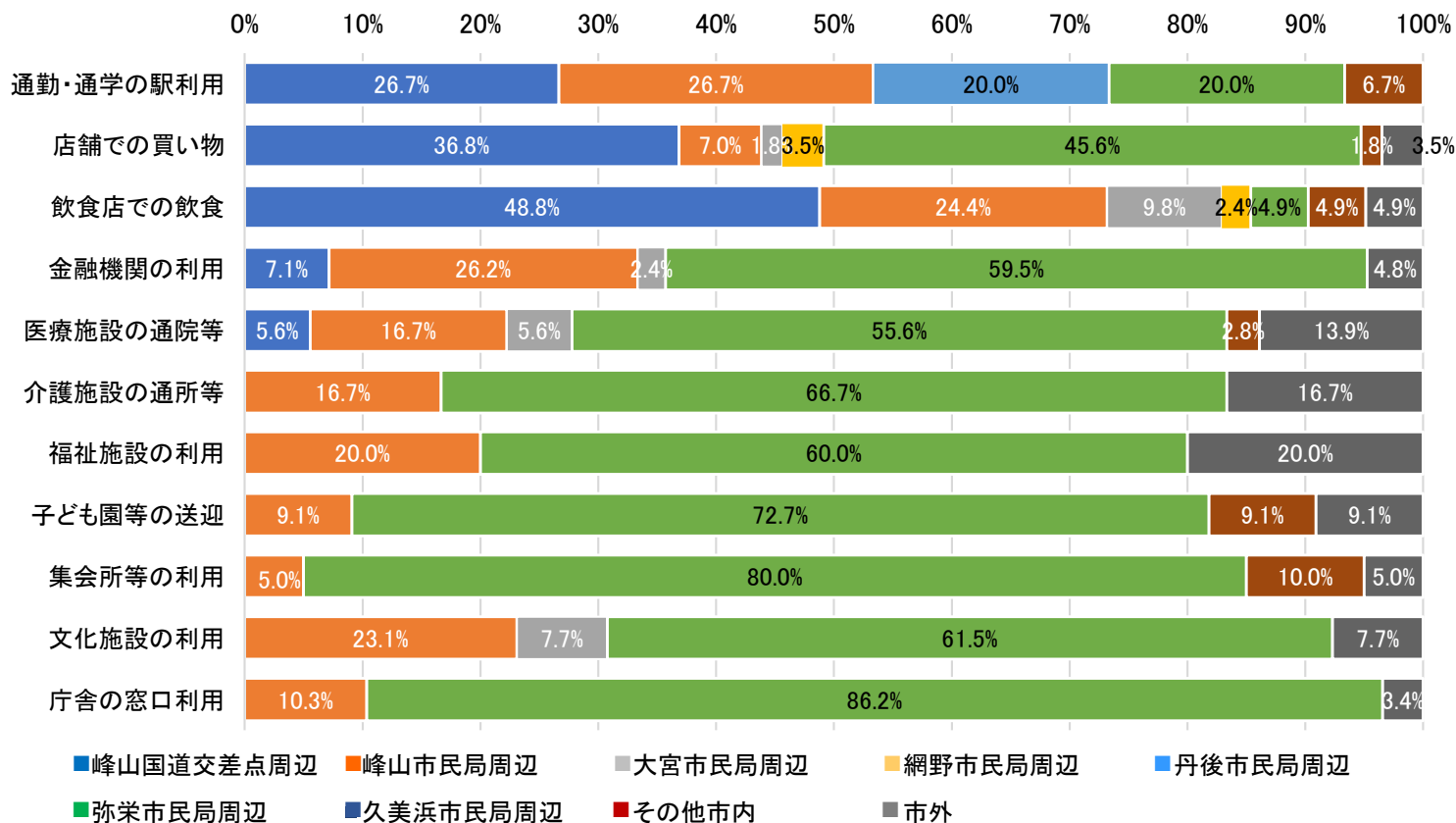
- 丹後市民局周辺の利用割合が高い。
- 国道交差点・峰山市民局周辺利用も一定程度みられる。
- 丹後市民局周辺では、集会所、介護施設、庁舎の利用が特に多く、国道交差点周辺は買い物・飲食店、峰山庁舎周辺は医療施設の利用が多い。



4. 市民アンケート調査

■ 日常の行動や利用施設の行き先（弥栄町居住者）

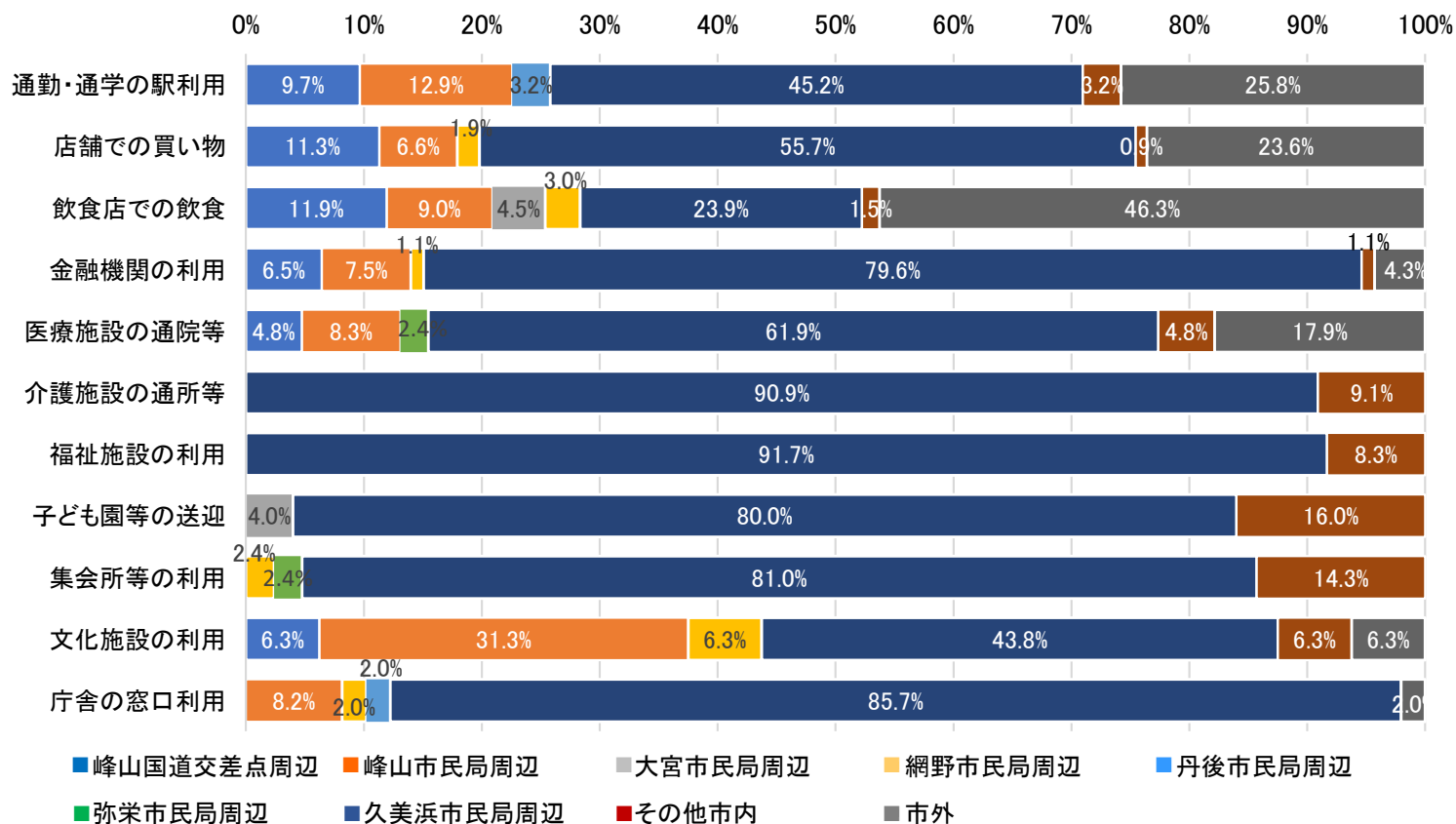
- 弥栄市民局周辺利用が最も多く、次いで国道交差点・峰山市民局周辺が多い。
- 弥栄市民局周辺では、庁舎、集会所、子ども園等の送迎が特に多く、駅利用、買い物、飲食などは峰山国道交差点周辺利用が多い。
- 介護、福祉は、市外（宮津市）利用の割合も比較的高い。



4. 市民アンケート調査

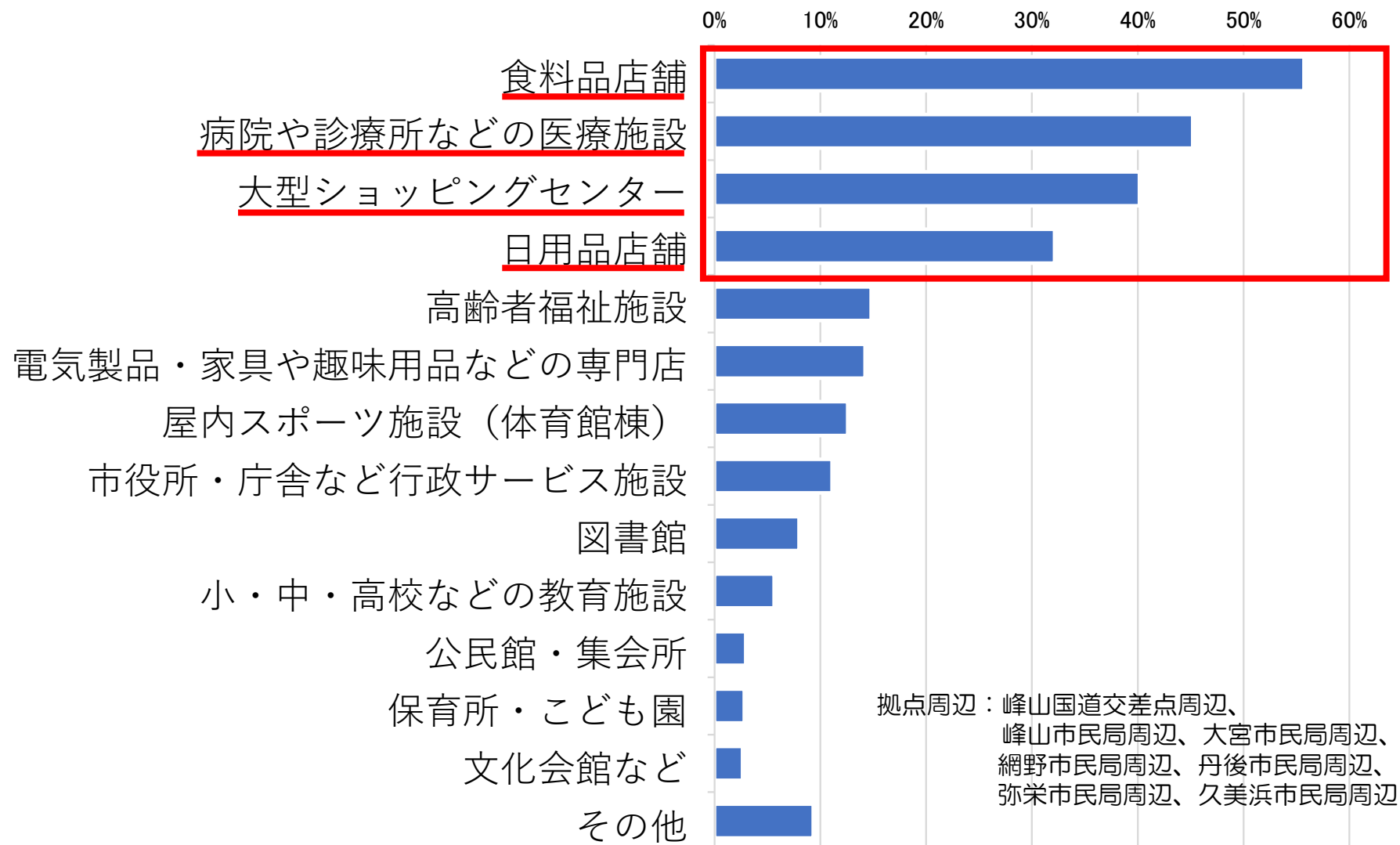
■ 日常の行動や利用施設の行き先（久美浜町居住者）

- 全体的に久美浜市民局周辺の利用割合が高い。
- 駅利用、買い物、飲食などは、市外（豊岡市）利用の割合も高く、飲食店利用は久美浜市民局周辺を上回っている。



4. 市民アンケート調査

- 今後拠点周辺に必要な施設として、食料品店舗、医療施設、大型ショッピングセンターの順に高い。



5. 主要課題

(1) 拠点における都市機能の強化

- 都市拠点の機能強化、拠点間の機能分担と交通ネットワークの充実
- 地域資源を活かした魅力ある都市及び地域拠点の形成
- 広域交通を活かした産業の振興と雇用の確保

(2) 道路・公共交通ネットワークの充実

- 高速道路の整備による観光・物流機能等の向上
- 鉄道とバスの連携やライドシェアの市域への展開など、公共交通の充実と利用促進
- デジタル技術を活用した自動運転、MaaS（各交通モードをアプリを通じシームレスに接続）等の導入検討

(3) 居住環境の改善

- 空き家の適切な管理と活用
- 安全で快適な道路環境の向上
- 水と緑豊かな生活環境の向上

(4) 災害に対する安全確保

- 土砂災害対策の促進
- 浸水対策の推進
- 避難対策の充実、防災意識の向上

(5) 計画的な土地利用の誘導

- 山林、農地等の自然環境の保全・活用
- 都市計画区域内における用途地域等の指定検討
- 国道312号沿道等における土地利用の計画的誘導

6. 都市拠点の形成

総合計画に位置付ける都市拠点の形成に向け、「京丹後市都市拠点構想」や「京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画」を策定している。

都市拠点では、居住、商業、芸術文化、娯楽、交流など、多くの人が集まる都市機能の集積を図ることを目指している。

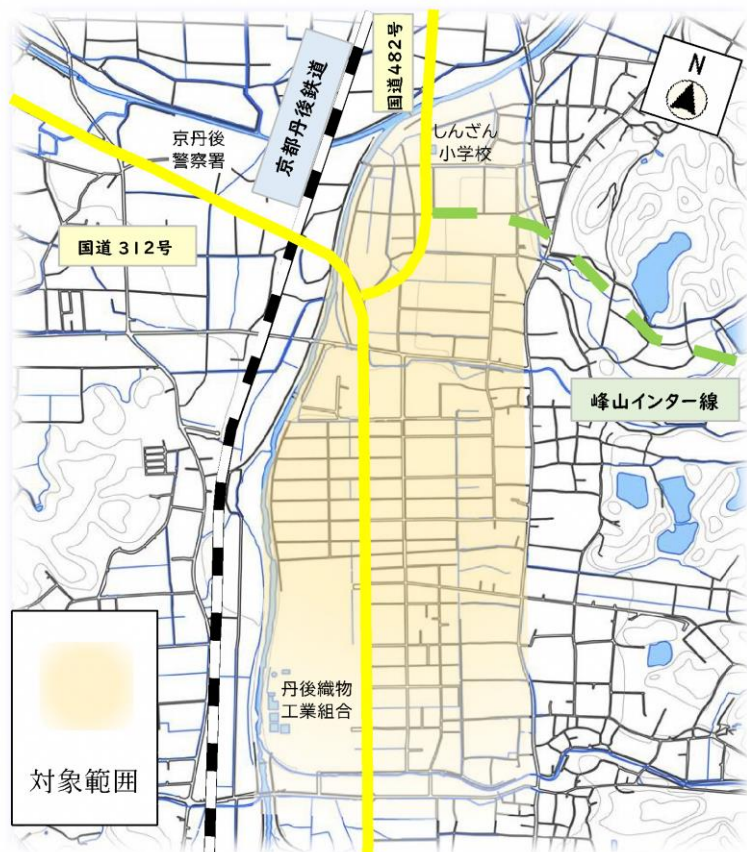


図 都市拠点の範囲

出典：京丹後市都市拠点構想

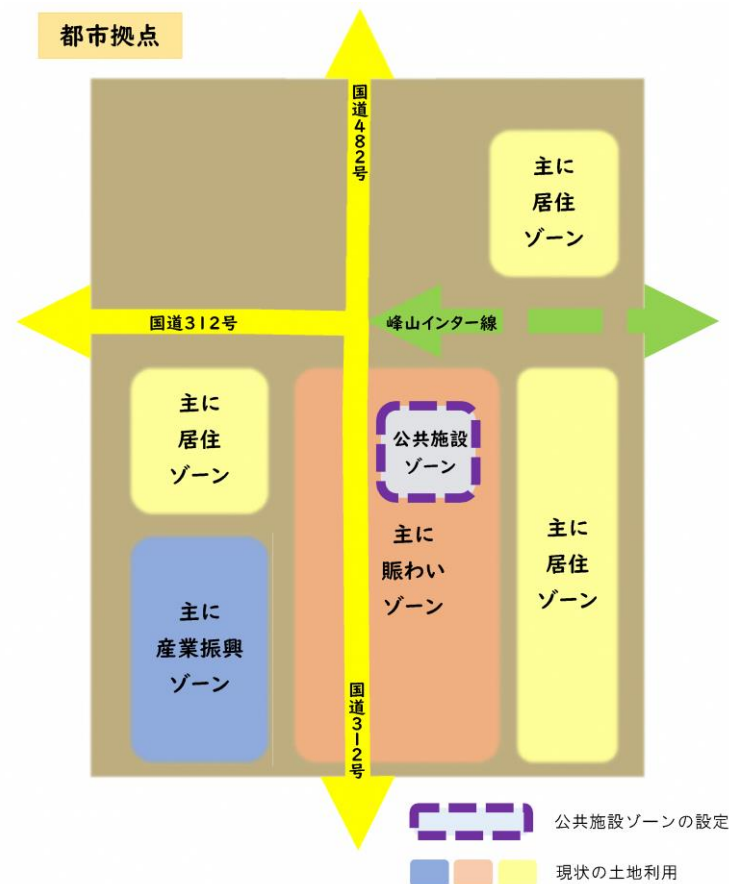


図 都市拠点のゾーニング

7. 拠点の形成 方向性（たたき台）

【拠点の形成】

利便性の高い機能を集積する都市拠点、日常生活機能に加え6つの町それぞれの地域特色に応じた機能を高める地域拠点の形成を目指します。

（１）都市拠点（国道312号と482号交差点付近から沿線周辺部）

- 市民や市外来訪者の交流を促し、新たな暮らし方・働き方に対応する拠点
- 既存商業に加え、子育て、商業、芸術文化、娯楽、交流機能の集積
- 市の新たな玄関口としての交通結節機能、交通拠点の形成

（２）地域拠点（各町の市民局周辺の市街地）

- 日常生活や居住機能の集積、都市機能の分担、地域資源を活かした生活拠点
- 既存の街並みを活かし空家等も活用、未来と伝統・歴史が調和するまちづくり

地域拠点共通

市民局周辺の地域拠点は、地域住民の日常生活をささえる中心地、市域の交通ネットワークの拠点としての役割を担います。

【目標】 各地域拠点に存在する一定の都市機能に住民が集まりやすい環境を整備し、住民が暮らしやすい環境を確保することを目指します。

<生活サービス> 商業、金融、医療、福祉、公共サービス施設が拠点周辺で機能するよう確保・配置を目指します。

<交通アクセス> 各拠点間及び周辺の地域（町域）での公共交通ネットワークを構築し、拠点機能へのアクセス確保を目指します。

<交流空間> 誰もが気軽に集い交流できる地域拠コミュニティ空間の構築を目指します。

7. 拠点の形成 方向性（たたき台 概略）

峰山地域	市民が安心して歩ける環境を整備し、国道網強化と交通円滑化。金刀比羅神社など歴史資源を活かした散策市街地を創出。運動公園でスポーツや健康のまちづくりを展開。峰山駅周辺の土地を活用し、ゆとりある市街地の形成。多様なニーズに対応した商業機能を誘導。など
大宮地域	高速道、国道などにより交通全体をスムーズ化。中山間地域の田園空間を活かした観光交流促進。竹野川の環境に配慮し、里山などの保全による良質な農産物を育む環境。旧道沿いの街並みなど魅力的な市街地。多様なニーズに対応した商業機能を国道312号等へ誘導。など
網野地域	市民が安心して歩ける環境を整備し、峰山～網野間の道路網、国道178号の道路機能を強化。機屋や古墳、離湖、琴引浜や八丁浜、夕日ヶ浦といった美しい海、温泉街など地域の魅力を向上。点在する観光拠点を結び、移動の利便性を高め、地域サービス機能の維持・強化。など
丹後地域	観光軸となる国道178号の道路機能の強化、漁業機能と観光機能の向上に向けた道路整備。沿岸景観に配慮し、リアス式海岸と山林の保全。漁業のまち間人の路地空間を活かした魅力的な街並みの推進。里山里海など自然環境を活かし地域生活サービス機能の維持・強化。など
弥栄地域	国道482号のバイパス化、農業公園や温泉施設への道路ネットワークの強化。良質な農産物を産出する営農環境の保全、ブランド化や都市農村交流等。自然や歴史を活かし、水辺公園を中心とした、うるおいある市街地形成。既存病院や福祉施設を活用し、福祉のまちづくり。など
久美浜地域	他の拠点との連絡強化のため、道路機能の強化。小天橋などの景勝地や、自然資源を活用した地域づくり。フルーツを中心とした食のまちづくり促進。歴史的な街並みや久美浜湾、かぶと山を活かした観光交流市街地づくり。既存病院や福祉施設を活用し、福祉のまちづくり。など